

2025年10月 発売予定

商品情報・発売スケジュール等はオフィシャルホームページで随時ご案内いたします。



WASHMAN FOR TRUCK

洗車も、物流問題。



二次元バーコードより
洗車風景をご覧ください。

WASHMAN 



産学協同研究(きらめき岡山創成ファンド事業)

トラック洗車を科学する。

IPU・環太平洋大学と株式会社本荘興産が共同研究

きらめき岡山創成ファンド事業として、IPU・環太平洋大学との共同研究により、トラック専用の洗車モップを開発しました。

従来型の洗車モップのように腕の力に頼るのではなく、体全体を効率的に使い、楽チン・スピーディに洗車することができます。



“洗車もスポーツ”という仮説を徹底的に研究しました

ゴルフクラブや野球のバットを振る時のように、手だけを使うのではなく、下半身リードで体全体を使いながらリラックスした動作により、疲労感や身体負荷の蓄積を軽減できるのではないかと、この仮説をもとに開発したトラックモップ。大学の協力を得ながら、筋電センサーで筋肉の動きを測定したり、年齢や性別別に、エネルギー消費量や酸素摂取量、心拍数を比較する等、様々な実証試験を行いました。



試験結果

身体負荷 **57%** 軽減

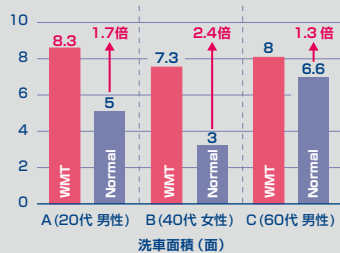
洗車時間 **62%** 短縮

実験結果

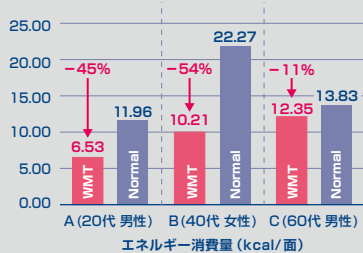
被験者	A 20代 男性		B 40代 女性		C 60代 男性	
	WMT	Normal	WMT	Normal	WMT	Normal
洗車面積 (面)	8.3	5	7.3	3	8	6.6
心拍数 (bpm/面)	11.43	20.59	17.96	51.79	13.75	17.64
酸素摂取量 (ml/kg/min/面)	1.31	2.25	2.11	4.45	2.68	2.93
エネルギー消費量 (kcal/面)	6.53	11.96	10.21	22.27	12.35	13.83

WMT=トラックモップ Normal=市販モップ

トラックモップの方が 洗車面積が1.3~2.4倍多い

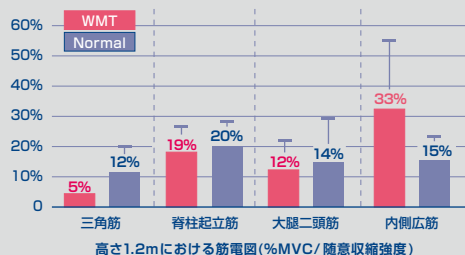


トラックモップの方が エネルギー消費量が約11~54%少ない

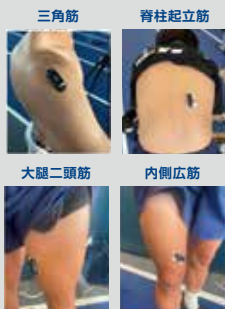
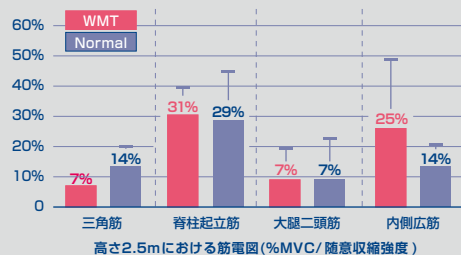


性別や年齢の異なる被験者に対し、「洗浄面積」「洗車時間」「作業速度」を統一した条件下で、トラックモップと市販モップをそれぞれ使用して洗車を行い、エネルギー消費量・酸素摂取量・心拍数の違いを測定しました。その結果、特に女性や洗車に不慣れた初心者においては、トラックモップを使用した方が身体への負担が軽減されることが明らかになりました。

市販のブラシは三角筋を多く使い トラックモップは内側広筋を多く使う



市販のブラシは三角筋を多く使い トラックモップは内側広筋を多く使う



三角筋、脊柱起立筋、内側広筋、大腿二頭筋に筋電センサーを装着し、トラックモップと市販モップを使用した洗車作業中の筋肉の使用状況や、一定時間内の動作の変化を測定しました。その結果、トラックモップは上半身よりも下半身の筋肉を多く使う傾向が確認されました。これは、グリップやストラップによってモップと身体が一体化しやすくなるため、自然と下半身を中心とした安定した姿勢で作業できることが要因と考えられます。



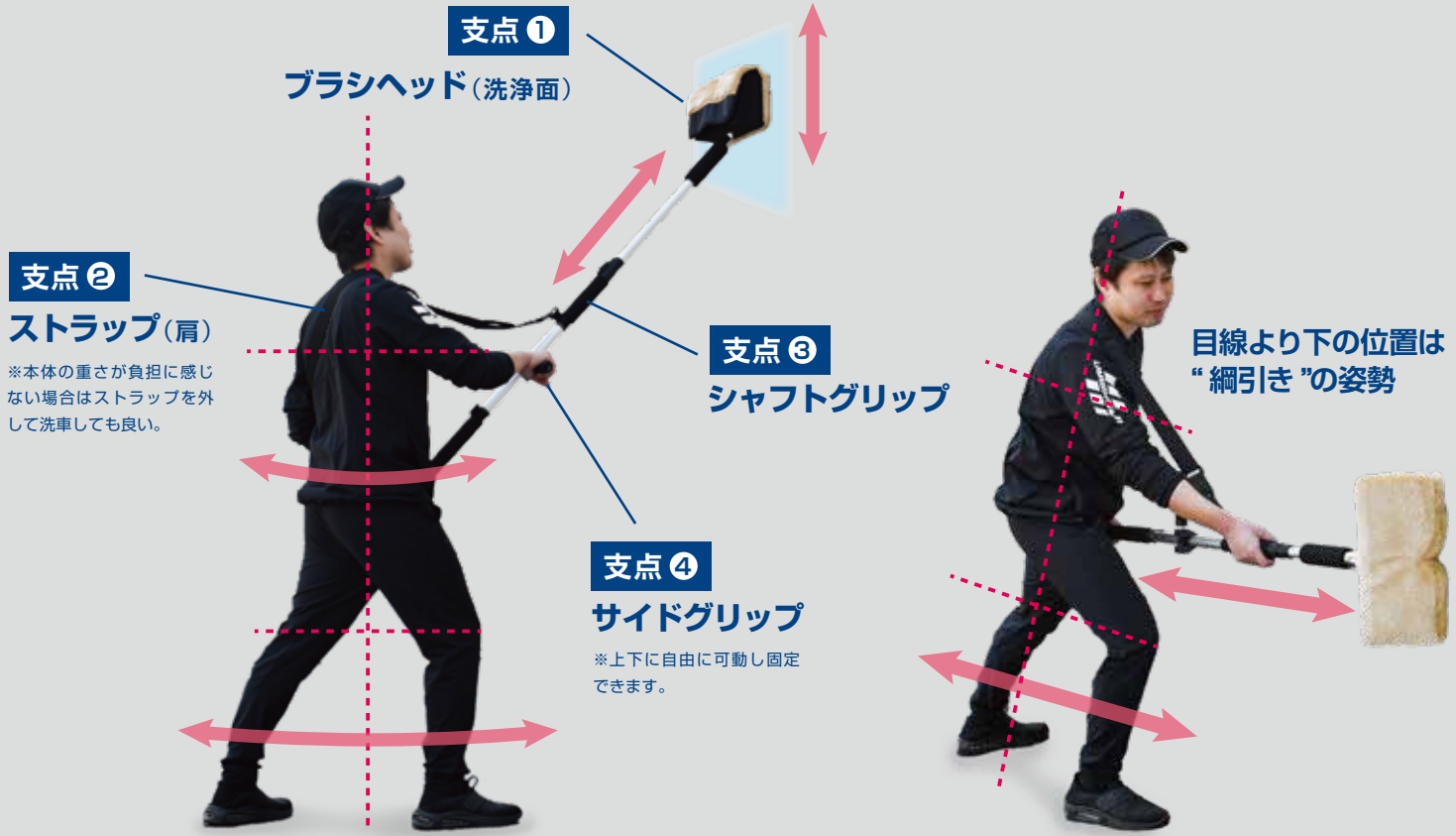
TRUCK MOP

トラック モップ

トラックを洗うことに特化した究極の洗車モップ

高所に対応した長尺シャフトの欠点は、洗車中に自由にシャフトの長さを調整しにくいこと、洗車時の作業姿勢が安定しないことや疲労や身体負荷が蓄積しやすくなることです。

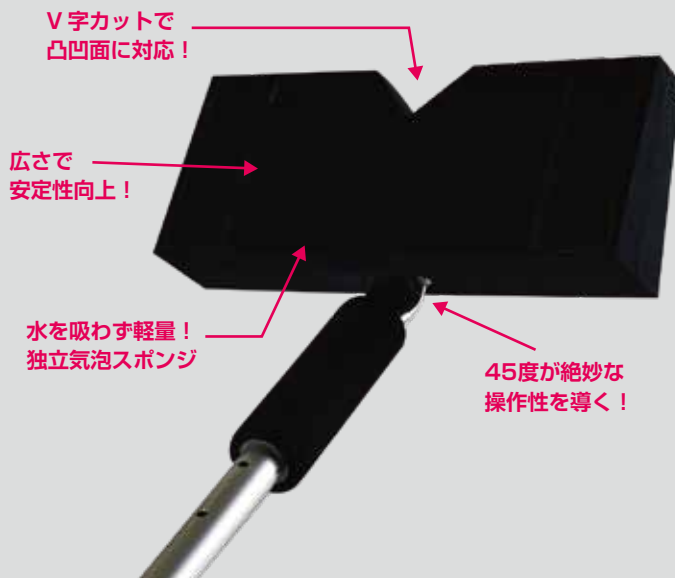
ウォッシュマンのトラックモップはワンタッチで4段階に伸縮するシャフトと、ブラシ面も含めて5つの支点で支えることで本体の重量感を緩和し、無駄のないスマートな身体の動きをアシストします。



スムーズな操作性の決め手はブラシヘッド

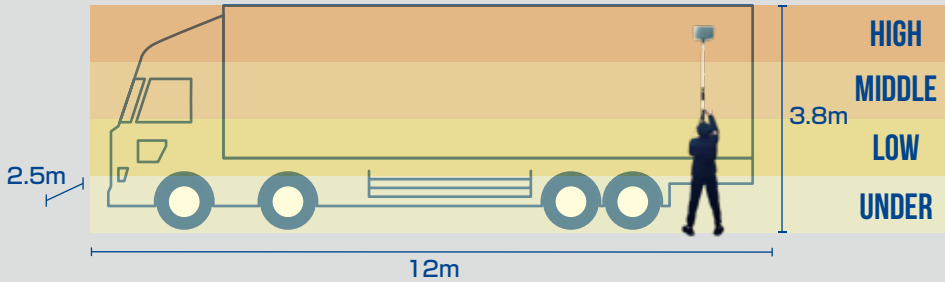
広い面をムラなく、楽に洗浄できるように設計されたブラシヘッドと各種ブラシ。プロ仕様ならではのこだわりと工夫が随所に施されています。

泡立ちと軽さを両立した
テックウールロールクロス

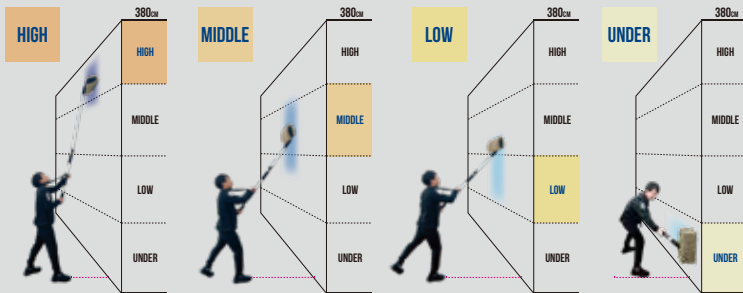


3.8mを4つのゾーンに分ける

洗車姿勢が安定する



最長: 2,385mm
最短: 1,435mm
重量: 1,112g



スポーツの姿勢や動きをイメージする

高い位置は剣道の面打ちのように身体は前後に動かし、低い位置は綱引きのように下半身を安定させて、洗浄面に対し、斜めに構えることで身体負荷のかかりにくい姿勢をキープできます。

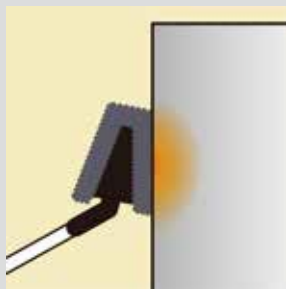


水滴の拭き取りなら タオルロールクロス

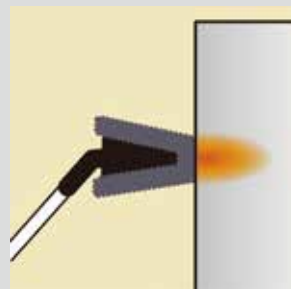


ブラシヘッドの3面をうまく使い分ける

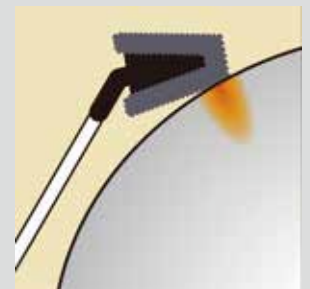
ブラシ面で力加減が変わったり、洗浄面の形状に合わせて使い分けることができるのもトラックモップならではの機能です。



スピーディな洗車に



頑固な汚れの洗車に



曲面などの洗車に

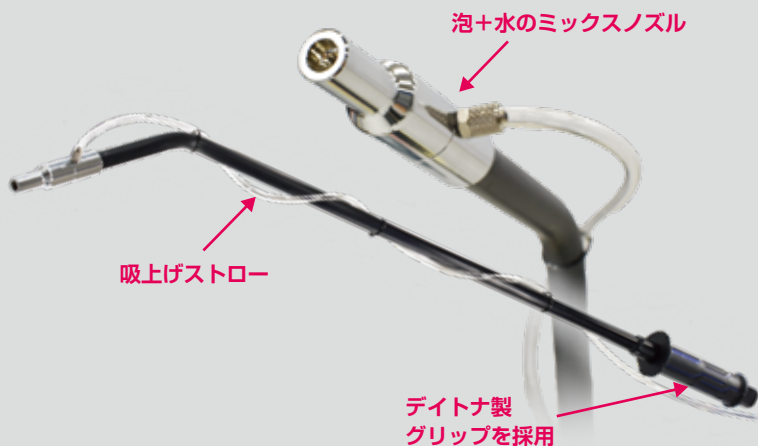


FOAMBAR

フォームバー

泡と水を、絶妙ミックス!

独自開発のミックスノズルとシャンプータンクから洗剤を水圧で吸い上げる仕組みにより、水道ホースさえあれば、どこでも気軽にシャンプーを噴霧できます。



“泡立ち”と“泡切れ”を両立

洗浄時の泡立ちの良さに加えて、洗浄後に残った泡を水で流す際に、瞬時に泡が消える消泡機能も兼ね備えています。洗車時間の短縮や水の使用量削減に効果絶大の専用シャンプーです。



ショルダー式
タンクフォルダー



5L ボックスタイプの
専用シャンプー



WASHMAN
JETBAR
ジェットバー

“実用性”を重視したシャワー

高圧洗浄機の水圧には劣るものの、水道ホースさえあれば、すぐに使用することができる手軽さがとても便利。トラックを洗車場まで移動させる手間も省けます。



WASHMAN
CART KIT

カートキット ※台車は付属しません

専用カートを使って
無駄な歩数を減らしましょう

市販の台車にセットするだけで便利な専用カートに生まれ変わります。フォームバーでシャンプー噴霧し、トラックモップでブラッシング、さらにジェットバーで泡をシャワーで流す。この3つの工程を繰り返しながら洗車作業を効率的に進める上で、専用カートは欠かせない存在となります。

※開発中のためデザイン変更がある場合がございます。

市販の
小型台車に対応
※台車は付属しません



プロフィール

株式会社本荘興産は、岡山県倉敷市にある一軒のガソリンスタンドからスタートした企業です。アメリカ製コーティング剤「ポリマーシーラント」の輸入・販売をきっかけに、BtoB 向けカーケミカルの製造メーカーとして事業を拡大。現在では、国内の複数のカーメーカー向け純正品の開発をはじめ、プロのディテ일러を育成するスクールの運営にも取り組んでいます。

近年は「手洗い洗車の最適化」をテーマに、羊毛モップを中心とした洗車ツール「WASHMAN」シリーズを開発。生産性向上や働き方改革が求められる現場において、高い支持を得ています。また、物流現場での洗車負担に着目し、「洗車も物流の2024年問題のひとつ」という現場の声から生まれたのが「WASHMAN FOR TRUCK」です。

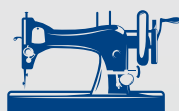
このプロジェクトは、岡山県産業振興財団「きらめき創成ファンド」事業として、2024年よりIPU環太平洋大学との共同研究・開発をスタートさせました。

そして2025年、オートサービスショーでついに完成品を発表。10月には市場への本格リリースを予定しています。



Honjyo

株式会社本荘興産 WEB サイト



倉敷産
KURASHIKI
JAPAN

ジーンズの聖地・倉敷の技が生んだプロ仕様の洗車ツール

「WASHMAN」は、羊毛、マイクロファイバークロス、ウレタンスポンジなど、用途に応じた特長ある素材を用い、ジーンズや帆布といった厚手素材の加工で知られる岡山県倉敷市・児島の縫製工場と職人たちの手仕事によって生まれた洗車ツールです。

大量生産やコスト重視のものづくりではなく、「長く使える、プロのための究極の道具を届けること」をコンセプトに開発されました。

開発者の独自の発想と細部にまでこだわった設計、そして職人の確かな技術。その融合によって、他にはない品質と使い心地を実現しています。



YouTube

倉敷産・WASHMANのイメージビデオ

お問い合わせ先

☎ 086-475-0950

受付時間：平日9:00~12:00/13:00~17:00

✉ info@honjyo-k.jp



株式会社本荘興産 〒711-0934 岡山県倉敷市児島塩生2764-3